

# 北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 10 号 (通巻 No.103)

2001 年 7 月 31 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7177
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。

### 平成 13 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間：平成 13 年 8 月～12 月

対象海域：日本海

2001 年 6 月下旬から 7 月中旬に日本海で実施された漁場一斉調査の結果、スルメイカの分布密度を示す CPUE<sup>注)</sup>の全調査点の平均は 21.92 であった。この値は近年で最も高い値であった昨年の値(23.01 個体；ロシア水域未調査)と同程度(95%)であり、過去 5 年間の平均値(17.29 個体)の 127%である。今年のスルメイカの資源は近年でも高い水準にあると推定され、傾向として北部の海域で分布密度が高かった。よって今期(8～12 月)の日本海においては北部の海域を中心に好漁が期待できる模様。

漁期と漁場は、8～10 月の道央から道北で特に好漁が期待される他、8～10 月の大和堆付近でも昨年並みの好漁となる見込み。昨年漁獲が低迷した佐渡から道南の沿岸域では昨年よりも好漁が期待される。さらに 11 月以降の沖合を中心とした海域、および 12 月以降の山陰・九州沿岸域でも好漁が期待される。

なお魚体の大きさは、沖合域では昨年と同様に例年より大きめのサイズ、沿岸域では例年並のサイズが多く漁獲されると考える。

注) CPUE：自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数

参考) 水産庁のホームページのプレスリリースに予報内容等が掲載されております。

<http://www.jfa.maff.go.jp/rerys/13.07.25.2.html>

(文責：中央水試 資源管理部)

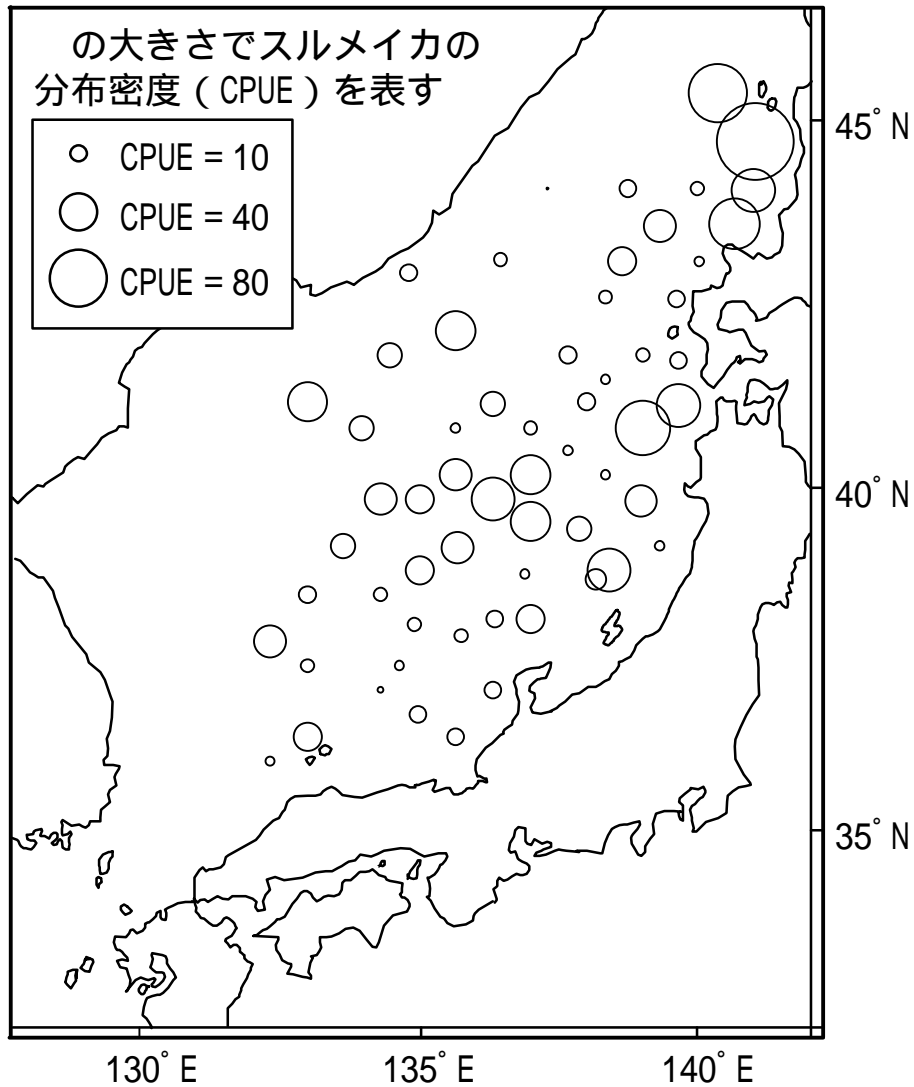


図1 2001年日本海スルメイカ漁場一斉調査  
におけるスルメイカの分布

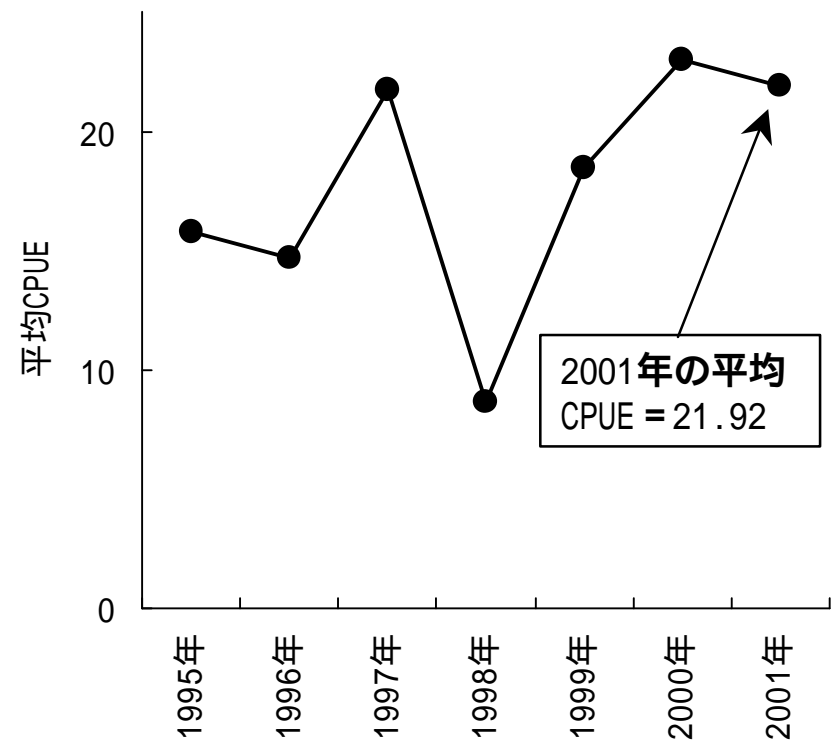


図2 日本海スルメイカ漁場一斉調査における  
スルメイカの平均CPUEの経年変化